

ITストラテジスト 講評

【総評】

午前Ⅱ試験では新しい用語の問題が多く、午後Ⅰ試験は新技術というより事例企業のより具体的な取組内容が中心となる問題でした。午後Ⅱ試験は題材がオーソドックスであったため、問題文の設定や誘導に注意を必要とする問題でした。受験生自身の考えで準備した事例をそのまま論文に適用するのではなく、問題文の内容をしっかりと把握し、設問要求に準じて解答することが求められました。

【午前Ⅱ】

目新しい用語に関する知識問題があり、解きにくいと感じた受験者も多かったと思います。しかし、問題文中の英語表記から解答を推測できる問題や、基本的な知識で解答できる問題もありました。過去問題に関連した問題を着実に正解し、新出の問題には消去法や一般的な知識などを活用してどれだけ正解を導けたかがポイントになりました。

【午後Ⅰ】

問1が総合金融サービスの提供、問2がITを活用したビジネスモデル変革、問3がIT活用による業務改革と、新しいテーマではなく、題材となった企業も想像しやすい問題でした。狙い、ニーズ、理由、目的など、ITストラテジストとして把握しておくべき要素を問う設問でした。

<午後Ⅰ問題テーマ>

- 問1 インターネットサービス事業者による総合金融サービスの提供
- 問2 地方新聞社におけるITを活用したビジネスモデル変革
- 問3 旅館のIT活用による業務改革

【午後Ⅱ】

午後Ⅱ試験は、従来、1問はシステム化計画をテーマとする出題がありましたが、今回は2問ともに企画寄りのテーマでした。問1は新たな技術の採用、問2は新しいビジネスモデルがテーマとなっていました。テーマが比較的オーソドックスであったため、準備していた事例の中に出題テーマに合ったものがあつたのではと思います。設問アで概要や背景(事業特性など)を示し、問題文にある設定や誘導を正しく把握した上で、設問イ、設問ウを論述できたかがポイントになりました。

<午後Ⅱ問題テーマ>

- 問1 DX(デジタルトランスフォーメーション)の実現に向けた新たな情報技術の採用について
- 問2 新しいビジネスモデルの策定について

以上